

札幌校学生のみなさんへ
札幌校への入学を志望するみなさんへ

【重要】令和3年度前期授業の実施方法等について

令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症の拡大状況をふまえ、実験・実習・実技の科目、1年生対象の一部科目、受講者が少人数の科目等を中心に、対面での授業を実施してきました。令和3年度前期については、北海道及び札幌市の感染状況等を考慮し、令和2年度後期に比べて対面授業とする授業科目の範囲を拡大し、これまで以上に感染防止対策を十分に講じた上で、下記のとおり対面授業を実施することとします。

対面授業の受講にあたっては、授業開始(4月8日(木))の2週間前から検温・健康観察を実施してください。
なお、今後の感染状況により実施方法が変更される可能性がありますので、ご承知おきください。

記

○対面で実施する授業科目の種類

授業における3密の回避、キャンパス全体における人口密度を下げ感染リスクを低減させる観点から、以下の条件を満たす科目について対面授業を実施します。

授業科目名等の詳細については、3月中旬頃に札幌校ホームページ等にてお知らせします。

なお、以下の条件を満たさない科目については、昨年度と同様に非対面による授業(遠隔授業)とします。

- (1) 対面授業での実施が必要な実験・実習・実技の科目(1年生の科目を含む)
- (2) 1年生の授業科目で、体育I、外国語コミュニケーション(英語)I、外国語(英語)I及び上記科目と同じ曜日に開設されている専攻・分野単位の専攻科目
- (3) 受講者数が25名以下の2年生以上の科目で、対面授業が必要な科目
- (4) 受講者数が25名を超える2年生以上の科目で、以下のような特別な対応をできる科目
 - 受講者数は25名以上だが、2クラス以上に分けて実施可能な科目
(ただし時間割変更によって、受講生の他の科目の受講に支障が出る場合は認めない)
 - 受講者数は25名以上だが、クラスを複数グループに分け、一方を対面で、もう一方を遠隔で行う(隔週で対面と遠隔を入れ替える)などして、教室(対面)での受講者が25名を下回る場合

※なお、上記(1)～(4)の対面科目の確定後に、1科目も対面での授業実施がない2・3年生が出てくることが予想される専攻・分野については、上記受講者数の制限によらず、別途、対面授業として実施する専攻科目等を指定することがあります。その場合は、追加の対面授業科目として3月下旬頃にお知らせします。

○健康観察等について

- ・自己健康チェック表又は携帯アプリ「健康日記」により、毎日、検温・健康観察を行ってください。

【自己健康チェック表】

PDF版 <https://www.hokkyodai.ac.jp/files/00007300/00007312/20200428191709.pdf>

Excel版 <https://www.hokkyodai.ac.jp/files/00007300/00007312/20200428191718.xlsm>

Word版 <https://www.hokkyodai.ac.jp/files/00007300/00007312/20200428191732.docx>

【携帯アプリ「健康日記」】 <https://www.htech-lab.co.jp/covid19/>

- ・携帯電話に新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCoA)をダウンロードしておいてください。

【新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCoA)】

アンドロイド版(Google Playで検索)

<https://play.google.com/store/apps/details?id=jp.go.mhlw.covid19radar>

iOS版(App Storeで検索)

○通信環境等の準備について

令和3年度前期においても、昨年度と同様に遠隔授業で実施する科目がありますので、履修に必要なパソコン(又はタブレット端末等)や自宅におけるインターネット環境の整備について重ねてお願いいたします。